

2025 年度入学者 GCP エントリー対象入試の訂正について

GCP 事務室

「2025 年度入学生向け GCP パンフレット」8 ページの GCP 選抜要項における「対象入試」について、誤りがございました。謹んでお詫び申し上げますとともに、下記のとおり、訂正させていただきます。太字下線の入試が GCP エントリー対象入試に追加となります。

<誤>

- 対象入試 : PASCAL 入試、公募推薦入試、指定校推薦入試、創価学園推薦入試、大学入学共通テスト利用入試、全学統一入試、一般入試、大学入学共通テスト利用入試（後期）、一般入試（後期）

<正>

- 対象入試 : PASCAL 入試、グローバル人材育成入試（グローバル特色型）、基礎学力方式、指定校推薦入試、小論文方式、国際バカロレア入試、帰国学生入試、創価学園推薦入試、大学入学共通テスト利用入試、全学統一入試、一般入試、大学入学共通テスト利用入試（後期）、一般入試（後期）

※グローバル人材育成入試（グローバル特色型）の合格者が GCP にエントリーする場合、GCP 合格後に GLP と HOPE 以外の学部プログラムを辞退いただきます。

問い合わせ先 : GCP 事務室 <sgcp@soka.ac.jp>



問題発見力

海外研修

学部横断型特別プログラム

Global Citizenship Program

語学力

問題解決力

進路

グローバル・シティズンシップ・プログラム
2025年度入学者用案内

プログラム
受講料無料

海外研修
奨学金給付



GCPの実績

世界に羽ばたくGCP生

徹底的にアカデミック英語の訓練を積める場がGCPです。在学中の交換留学、卒業後の海外大学院出願に必要なTOEFL iBT®やIELTSスコアを達成することが可能なカリキュラムになっています。プログラム修了生のTOEIC®L&Rスコアの平均点は900点に達しています。また、試験のスコアアップだけでなく、どの学問領域でも役立つ、高度で実践的な英語力を磨ける点もGCP英語プログラムの大きな特徴です。留学先で必要とされる英語の読解力、ディスカッション力、英語でリサーチペーパーを作成し発表する力を日本で留学前に身につけるため、留学先の大学で語学学校に通う必要がなく、到着後すぐに現地の学生と一緒に専門科目を学ぶことが可能です。

また、GCPで培った語学力、リサーチスキル、海外フィールドワークの経験、国際貢献への熱意などを評価され、多くのGCP生が給付型奨学金を獲得しています。約8割のGCP生が長期留学を経験し、世界各地で行われる国際機関のユースフォーラムやハーバード大学の学生会議などにも積極的に参加しています。

留学経験の有無に関わらず、GCP生は就職先で語学力を高く評価され、業務で日常的に英語を使用する部署に配属されたり、勤務先の海外派遣制度等を利用して留学したりなど国際的に活躍しています。また、多くのGCP生が国内外の大学院に進学し、英語で執筆した論文を国際学会で発表するなど、英語をツールとして使いこなしています。

夢を形に！ 社会で光る卒業生

GCPの成果は、卒業生の進路の多様性とレベルの高さにも表れています。多くの卒業生が海外・国内の難関大学院進学、業界トップレベルの企業就職、外務省専門職や国家公務員総合職などの難関公務員試験、司法試験、公認会計士試験合格等を果たし、GCPで得た力を活かしてそれぞれの進路先で活躍しています。

卒業後、アメリカの大学院で医学博士号を取得し、ハーバード大学のメディカルスクールで勤務後、現在デューク大学医学部で博士研究員として働く卒業生は、GCPで身につけた英語力、プレゼンテーションスキル、研究者としての心構えが大学院で高く評価され、現在の進路を勝ち取れたとコメントしていました。

またGCPでは、年2回の総会のほか、キャリアワークショップや懇談会など、卒業生との交流の場を豊富に用意し、教職員と卒業生が一体となって、皆さんの夢を形にしていけるサポートをしています。

GCP生の主な留学先



ヨーロッパ

イギリス	ブルガリア
フランス	リトアニア
ドイツ	ポーランド
スペイン	ベルギー
ロシア	トルコ
オーストラリア	ノルウェー
デンマーク	アイルランド
チェコ	



北米・中南米

アメリカ
カナダ
ブラジル
ペルー
ボリビア



アジア・オセアニア

中国、香港、マカオ、台湾
韓国
フィリピン
タイ
シンガポール
インドネシア
マレーシア
インド
ブルネイ
ベトナム
ネパール
オーストラリア

アフリカ

南アフリカ
ケニア
ザンビア



GCP生の主な就職先・進学先

一般企業

日本IBM、三井物産、アクセンチュア、ベトナム三菱商事、アマゾンジャパン、ゴールドマン・サックス証券、三菱電機、パナソニック、ソニー、日立製作所、ヤマハ発動機、味の素、ファイザー、アストラゼネカ、NTTデータ、ユニ・チャーム、デンソー、ジョンソン・エンド・ジョンソン、PwCあらた有限責任監査法人、デロイトトーマツ、出光興産、ソフトバンク、関電工、ウォルト・ディズニー・ジャパン、日本ビューレット・パッカード、ファーストリテイリング、ポケモン、リクルート、アサヒ飲料、KPMGコンサルティング、日本マイクロソフト、P&Gジャパン、ロッテ 等

海外大学院

ジョンズ・ホプキンス大学、タフツ大学、ケンブリッジ大学、オックスフォード大学、コロンビア大学、シドニー大学、LSE、パリ第1大学、エセックス大学、サセックス大学、マギル大学、オスロ大学、コペンハーゲン大学、南カリフォルニア大学 等

国内大学院

東京大学、京都大学、一橋大学、東京工業大学、大阪大学、神戸大学、沖縄科学技術大学院大学、北海道大学、広島大学、同志社大学 等

難関試験・公務員・その他

公務員（外務省、厚生労働省、法務省、農林水産省、防衛省、総務省、世田谷区、横浜市、大阪府 等）
教員（東京都、熊本県、鳥取県、海外日本人学校 等）

国際機関・国際協力・その他

国際通貨基金（IMF）、国際協力機構（JICA）、JICA総方貞子平和開発研究所、日本赤十字社、国連大学、NPO法人カタリバ 等

研究職（ハーバード大学、デューク大学、UCLA、サンノゼ州立大学、東京大学、広島大学、岡山大学、滋賀大学 等）

弁護士
公認会計士

在学生・卒業生メッセージ



世界が抱える食料問題の解決に寄与できる人材に!

在学生

おくむら ひろき
奥村 光輝

理工学部在学 岐阜県出身 岐阜県立岐阜高等学校卒業

GCPに応募した当初は、漠然と世界に対する憧れがあり、語学力とグローバルリーダーとしての力を伸ばしてくれるプログラムに魅力を感じていました。GCPに実際に入ってみて今、感じていることは、英語力を飛躍的に伸ばせることだけでなく、ともに学ぶ仲間と出会えることがGCPの大きな魅力だということです。同志と会って話せば元気が出て、また次の日も頑張る勇気が湧きます。

私は現在、交換留学生として、チェコのマサリク大学で、植物学を学んでいます。留学後は、より深く植物について研究するため大学院への進学を考えています。そして将来は、食料問題の解決に携わりたいと考えています。

実は、高校生の頃は他の大学に行くつもりで勉強していましたが、今は、創価大学でとても充実した日々を過ごしています。

自分を変えたい、自分を大きく成長させたい、と思っている人は、ぜひ創価大学・GCPに来てください。ここでは、自分の持つ力を最大限に引き出して、なりたい自分になっていける環境が整っています。ともに学べる日を楽しみにしています。



京都大学大学院でさらなる学びに挑戦!

卒業生

ながいし ゆい
永石 優衣

法学部(2024年卒業) 東京都出身 東京都立国立高等学校卒業 京都大学大学院 農学研究科

GCPは、切磋琢磨しあえる仲間と、思いもよらないほど成長した自分に会える場所です。GCPでは「英語で学ぶ力」と「多面的な思考力」、「チームワーク力」を磨きました。「英語で学ぶ力」は、GCPの英語の授業で行われる教授や学生同士とのディスカッションや、プレゼンテーション、レポート作成を通じて高めることができました。そうした英語の授業で多様な学問分野の話題に触れることで「多面的な思考力」が磨かれました。また「多面的な思考力」は、海外研修や成果報告会に向けたリサーチ活動を学部の異なる学生とともにやり、インタビューを行い、大学内外で様々な人と交流することを通して育めました。そして学部を異にする学生と協力して、社会問題を発見し、解決策を模索するリサーチ活動は、傾聴力や行動力をはじめとする「チームワーク力」を向上させる経験となりました。これらの経験は、ポーランドの留学や大学院進学に大いに活かされました。また、学びの幅や出会える人々の輪がぐっと広がり、世界に貢献できる人材としての成長をともに果たすことができます。創価大学GCPで学び、世界に羽ばたきましょう。



3か国語を使いこなし、世界へ!

卒業生

いわき あつこ
岩城 温子

文学部(2016年卒業) 大阪府出身 関西創価高等学校卒業 大手石油会社シンガポール駐在

語学力だけではなく、社会で通用する問題解決力や国際感覚を身につけたいとの思いでGCPに入りました。GCPのプログラムでは専門分野の異なる仲間とグループワークに励む中で、物事を多角的に考える力や、異なる視点を活かして一つのアウトプットを導く力等、様々な力を養うことができました。また、GCPの2年間で集中的に英語力を向上させたことで、3年時には中国への交換留学で中国語の習得にも挑戦することができました。

GCPのフィリピン研修や中国への留学経験を通し、インフラの根幹を支える仕事に魅力を感じ、卒業後は石油会社に入社しました。複合型店舗の新設や経営改善の業務に携わった後、現在はシンガポールで原油の買い付け、トレーディング業務を担っております。また、職場では日常的に英語と中国語を使っています。日々目まぐるしく変化するマーケット環境で働くことはチャレンジングではありますが、GCPのプログラムで養った情報分析力や計数感覚、課題解決力が現在の業務にも活かしていることを実感しています。GCPは思っていなかったほどの成長を実感できるプログラムです。志高い仲間とともに成長したい方は、是非GCPに挑戦してください。

GCPの学び

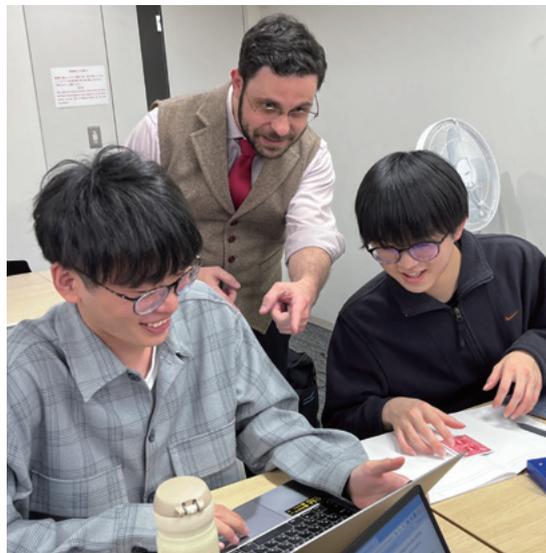
ビジネスや研究の場で活躍できるレベルの英語力を培う！

GCP副ディレクター

かんざか いずみ
勘坂 泉

GCPでは独自の集中英語講座で海外大学院留学レベルの英語力と、国内外のグローバル企業や国際機関に就職する際に求められる高度な英語コミュニケーション能力の修得を目指します。単に英語試験のスコアを伸ばすのではなく、国内外の社会問題や地球規模的な問題を英語で、探究的に学習し、将来どの領域に進んでも役に立つ英語力+思考力を磨きます。

徹底した4技能の特訓に加え、問題発見+解決+発信で総合的に英語を学べるので、英語圏で専門科目を学べるレベルに、日本にいながら到達することが可能です。国際経験豊かな教授陣によるカウンセリングと効果的な授業外学習指導により、さまざまなニーズに対応しています。英語を日本で仕上げ、非英語圏へ留学し、多言語習得を目指すことも可能です。



グローバル社会で役立つ実践的な問題解決力や提案力を磨く！

GCP副ディレクター

あさが ひろのぶ
朝賀 広伸

プログラムゼミでは、地球的問題群の解決に貢献すべく、リーダーシップ、リサーチスキル、問題発見力、問題解決・提案力を養います。第1に、グローバルリーダーになるための自立的な学習習慣を身につけます。リーダーシップに関する知識およびビジョン、キャリアデザイン、コミュニケーションの基礎を体験的に学びます。第2に、グループワークを通してリサーチの基本的な手法を身につけます。問題発見・資料収集・データ分析の仕方、リサーチペーパーの書き方、プレゼンテーションの仕方、他者との協同を学びます。第3に、現実の社会・政策課題を対象として、修得したリサーチスキルを学際的かつ多角的な視点から発展的に応用します。具体的には、「気候変動関連政策分析のための科学的知見」として、CO₂排出量データに基づいた対策手法の考察および施策の優先順位付け、エネルギーの基礎知識と各種発電メカニズムの利点・欠点およびエネルギーと温暖化の関連を研究します。また、「ローカル(地方自治体)レベルの環境政策」にも目を向け、再生可能エネルギーの実践例を研究します。さらに、「社会課題に対する数理・統計的アプローチ」の仕方を身につけます。人工知能(AI)、機械学習、ディープラーニングの基礎、社会課題解決へのAI適用などの分析手法を、統計ソフトを用いて修得します。第4に、集大成として、公開型の成果報告会にてプレゼンテーションを行います。地球環境・資源エネルギー問題、貧困・食糧問題、民族紛争やテロなどの地球的諸問題に対する解決策を提案することに挑戦します。

プログラムゼミでは、上記の多段階ステップにより、アカデミックスキルを応用し、社会・政策課題の探求を深化させ、グローバル社会で役立つ実践的な問題解決力や提案力を磨く授業を展開しています。



1年春学期 プログラムゼミⅠ Career&Leadership

グローバルリーダーとしての資質を磨く
地球市民として目指すキャリアビジョンを形成し、リーダーシップについて考察

1年秋学期 プログラムゼミⅡ Basic Research

開発途上国が直面している社会課題を探究する
海外フィールドワークに向け、研究テーマを設定し文献調査、研究発表を実施

2年春学期 プログラムゼミⅢ Policy Studies

社会課題の解決に取り組むための素養を深める
気候変動、環境問題、廃棄物処理、エネルギー問題等の社会課題を総合的に把握し、分析

2年秋学期 プログラムゼミⅣ Global Issues

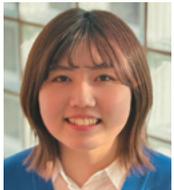
問題解決力、提案力を養成する
自ら社会課題に関する問いを立て、その解決策を社会に対して提案



カンボジアの水環境意識向上-空心菜プロジェクト-に携わったGCP生

GCP海外研修 返還不要の奨学金給付により、全員が海外研修に参加！

GCPでは渡航費・受講料・宿泊費を全額支給し、プログラムゼミの授業と連動した約2週間の海外研修を実施します。開発途上国の問題解決をテーマとし、1年次後期のGCPの授業で入念に重ねた文献調査と議論のもと、海外フィールドワークでは、現地大学の教授陣の指導のもと、データ分析、ディスカッション、プレゼンテーションを通して実践的なスキルを磨きます。また、フィリピンのカガヤン・デ・オロ市の省庁、企業、医療機関、教育機関、カトリック教会などを視察します。



ほさか ゆうこ
保坂 優子

理工学部在学
新潟県出身
新潟県立高田
高等学校卒業

私のグループは、保健省や医療機関を訪問し、現地の妊産婦さんや助産師さんと直接対話し、母体の栄養状態と新生児の体重の関係性について、リサーチしました。生活習慣や食文化を教えて頂く中で、英語を手段として使うことの楽しさを感じ、さらに語学力を高めていこうと決意しました。また、リサーチスキルやリーダーシップに加え、学部横断の学びの中で多面的思考力を磨くことができました。この経験を糧に「世界市民」としての役割を探求し、国際社会において信頼と実績を得られる人材に成長します。



留学・国際会議



いずみ けんじ
和泉 憲司

経済学部在学
東京都出身
創価高等学校卒業
アメリカ デラウェア大学留学

各学部にも所属して専門性を高めながら、グローバルに活躍できる語学力、思考力を伸ばせるのがGCPの強みです。私は、2年間で身につけたスキルや知識を生かしてJICAのインターンに参加し、自身の夢に向かって大きな一歩を踏み出すことができました。

留学先のデラウェア大学では、語学学校ではなく、正規の学部授業で現地の学生とともに開発経済学などを履修し、アメリカで英語をツールとして使い、専門性をさらに高めることができました。

ネイティブスピーカーしかいない中でディスカッションや40ページものリーディング課題など、難しい挑戦の連続でしたが、GCPで必死になって勉強してきたおかげで、すべての授業でA評価を受けることができ、成績優秀者リストに名前が載ったことは、大きな自信となりました。

また、ハーバード大学のアジア国際関係プロジェクトにも参加し、学問の面でも、人格的にも、大きく成長できた留学となりました。

「大学は大学に行けなかった人のためにある」との創立者の言葉の通り、学んだことを社会に還元できるよう、がんばって参ります。



ハーバード大学主催Harvard Project for Asian and International Relationsに参加



ゆきた えみ
行田 恵美

経営学部在学
千葉県出身
創価高等学校卒業
香港 香港中文大学留学

留学が始まった当初は、周りの留学生の語学力や専門性、現地学生の積極的な授業姿勢に圧倒されましたが、GCPで培ったアカデミック・ライティングや、プレゼンテーションのスキル、そして時間管理能力のおかげですぐに順応でき、充実した留学生活を送ることができました。

また、授業でのディスカッションや日々の生活で学生と交流をする中で、相手の考えを尊重した上で自分の気持ちを伝えるアサーティブ・コミュニケーション力を発揮できるようにもなりました。何よりも嬉しいことは、夜遅くまで図書館で共に勉強をできる友人を作ることができたことです。

留学中には、商船三井『香港日本人商工会』の学生研修にも参加し、英語を使って社員さんと話し合いをしたり発表をしたりする中で、GCPで学んできたプレゼン力や質問力を存分に発揮することができました。

また、イギリス・ニュージーランド・エジプトなど海外8大学の学生とSDGsに関する企業研究を行うプログラム『Future17』にも、香港中文大学の学生代表として参加させていただき、多くの学びを得ました。

留学中、勉学や文化の違いなどで悩んだ時、自分が前を向く原動力となっていたGCPの同期や先生方、先輩や後輩の存在にも感謝しています。

学ぶ姿勢を忘れず、国際社会を舞台に活躍できる人に成長していきます。



多国籍のクラスメイトと交流を深める

進路



まつもと ひでゆき
松本 英之

法学部(2017年卒業) 愛媛県出身 愛媛県立松山南高等学校卒業
外務省 在ウクライナ日本国大使館

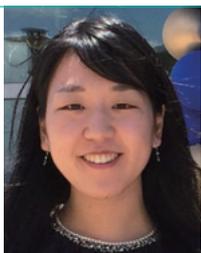
私は、高校まで海外に一度も行ったことがなく、英語を使う機会は皆無で、全くと言っていいほど話せませんでした。GCPの集中的な英語の授業のおかげで、アジアトップクラスである香港大学への交換留学も叶い、外交官という進路も勝ち取ることができました。

外務省入省後、全く縁のなかったロシア語の研修を命ぜられ、2年間、モスクワ大学でロシア語を勉強しましたが、GCPの授業で培った語学の学び方、語学を学ぶ姿勢は大変役に立ち、上級レベルのロシア語資格を取得することができました。

また、GCPのカリキュラムには、数人のグループとなって、社会問題等について研究発表する機会が用意されており、論理的思考力、分析力、限られた時間の中で課題をこなす力、そしてチームとして目標に向かって取り組む力を養うことができ、現在の仕事にも生かされています。

現在は、在ウクライナ日本国大使館にて政務班外政担当として、主にウクライナと第三国の外交関係に関する情報収集等を行っています。「国際社会の安定化を通じて一人でも多くの命を救う」という外交官を志した原点を忘れず、GCPで培った能力を発揮し、日々の職務を全うしていく所存です。

最後に、GCPでは単に能力を向上させるだけでなく、互いに切磋琢磨できる仲間に出会うことができます。このパンフレットを手にとってくださった皆様も、志を同じくする仲間と共に、想像以上の自分になれるGCPに応募されることを是非お勧めします。



おち り さ こ
越智 理佐子

教育学部(2018年卒業) 奈良県出身 関西創価高等学校卒業
イギリス サセックス大学大学院 国際教育開発専攻
株式会社日立製作所

GCPに入って教育学以外の視点に触れたことがきっかけで、教育学の視点から他分野を学んでみたいと思い、大学3年次にはフランスのビジネススクールへ交換留学をしました。

創大卒業後は、「教育を手段ではなく目的とする社会を実現したい」という想いを軸として、イギリスの大学院へ進学をしました。GCPでの学びは決して楽ではありませんでしたが、英語力だけではなく、多角的に物事を考える学際的視点や論理的思考力など、大学院での研究で根幹となる力を得ることができました。また、GCPの仲間と切磋琢磨して培ったプレゼン力やディスカッション力を発揮し、約30カ国から集ったクラスメイトとも活発に議論をして、学びの機会を最大限に活用することができました。

大学院での学びを通して得た、教育活動は一人ひとりのコミュニケーションから始まるという確信の下、創価教育をビジネスの世界で体現することをめざして人事総務職として企業就職することを決意しました。特に、全ての人が教育にアクセスできる世の中を実現するために、日本の社会インフラ技術を世界に発信していける企業を志望し、現在は日立製作所で人財開発や人財教育を担当しています。人財育成が会社の成長に繋がり、会社の発展が社会貢献に繋がるという信念で、日々の自分の行動が世界平和への一歩となっていると信じて働いています。

GCPで身につけた、専門性と語学力を強みとして価値を創出していく力は、社会のどこにいても強みとなる世界市民としての素養だと考えます。GCPでの学びを通して、「何のため」を探求し自身の無限の可能性に気づいたように、教育こそ人々の可能性を開く鍵であるという確信を胸に、人々の幸福に貢献していく決意です。同じ目的に向かって様々な分野で奮闘するGCP生の連帯が、今後さらに拡大していくことを楽しみにしています。



いしはら つとむ
石原 勉

経済学部(2015年卒業) 東京都出身 創価高等学校卒業 日産自動車株式会社

私がGCPで得たものは、英語・日本語で論理的に説明する力、プロジェクト企画力、6学部から集ったGCP生とのネットワークです。

私は入学当初、英語での会話が全くできませんでした。2年間のGCP集中英語講座を受講し、英語圏への留学経験なしで、論理的に議論できる英語力を身につけることができました。TOEICスコアも300点アップ。3年次からは更なる語学への挑戦としてインドネシアに留学し、現地語を流暢に話せるレベルまで習得できました。

就職先ではそれらのスキルを評価され、半年間の海外駐在も経験しました。そして現在は、日産自動車グローバル本社にて、東南アジア地域の中長期戦略企画を担当しています。本業務では過去・現在の問題を多角的に分析し、将来のビジョンを策定する力が求められます。この業務においても、GCPでの実践的なプロジェクト企画力と語学力が役立っていると実感します。

加えて、GCPで共に学んだ仲間が各界で懸命に奮闘していることが、私のモチベーションの源泉となっています。

GCPの理念と目的、5大特徴



GCPディレクター
さ さ き さとし
佐々木 諭 看護学部長

看護学部教授 博士(医学) 創価大学法学部卒業 新潟大学大学院医歯学総合研究科修了
10年に亘りアフガニスタンやザンビアで国際協力機構(JICA)や医療系NGOの国際協力事業に従事

GCPは、創価大学ミッションステートメントで謳われている、智慧、勇気、慈悲の3つの要件を有した地球市民(Global Citizenship)を育成することをプログラムの理念としています。具体的には、世界を志向し、世界の平和と人々の幸福を願う心ースピリット(Spirit/精神性)を持ち、世界が直面する問題の要因を分析し、解決策を提示する能力ースキル(Skill/技術・方法)を身につけ、決して自己の利益にとどまることなく、人々の幸福のために貢献する行動サービス(Service/奉仕・貢献)ができる地球市民の輩出を目指しています。

そのために本プログラムでは、以下の5つの取り組みを通して、世界を舞台に活躍したい皆さんをサポートします。グローバル企業、国際機関、世界トップレベルの大学院、国家公務員などを目指す強い志を持つ学生を全力で応援します。

① 学部に所属したまま参加できる学部横断型特別プログラム

GCPは6学部(経済・経営・法・文・教育・理工学部)の学生を対象に選抜を行います。それぞれの学部に所属したまま、互いに学びに取り組むことで、広い視野と多様性が育まれることを期待しています。

② 徹底した英語教育と奨学金給付(返還不要)による全員参加の海外研修

高いレベルの集中英語講座とあわせ、GCP受講者全員に、海外研修費用として返還不要の奨学金が給付され、全員が海外短期研修に参加します。GCPの海外研修では、研修先の政治・経済・環境・教育に関する講義を英語で受け、現状と課題について理解を深めていきます。

③ 社会システムを読み解く力ー数理能力をトレーニング

国際社会で活躍するためには、膨大かつ多種多様なデータを効率的に活用し、スピーディーに分析する能力が不可欠です。「社会システム・ソリューションI・II」では、社会の現状と問題を把握し、解決方法の考察と意思決定を行うために必要なデータ分析能力を修得します。

④ 独自ゼミでグローバルに活躍する人材を育成

セメスターごとにそれぞれ独自のゼミが設けられ、2年間で段階的に、リーダーシップ力、問題発見力、問題解決力を高めていきます。

⑤ 少人数制によるきめ細かい指導と「建学の精神」の深化

教員1人あたり学生が10名以下の少人数体制を組んで、週に一度のチュートリアル授業や学生一人ひとりの学問分野や進路に合わせて、きめ細かい個別相談・指導等を通して、学生生活を全力でサポートしていきます。

入学から卒業まで

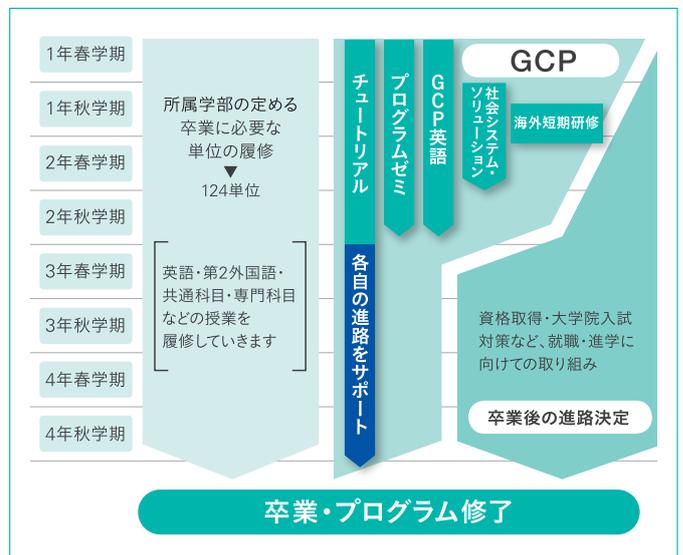
GCPでは、学生の所属する学部でそれぞれ定める卒業に必要な単位を修得しながら、並行して本プログラムの科目を履修します。プログラム修了に必要な単位(32単位)をすべて修得すると、卒業時に所属学部の学士に加えて、GCP修了が認定されます。

※卒業要件(履修科目、単位数)は学部により異なります。

※所属学部の定める卒業要件では、所定の単位の修得のほか、通算GPA(全科目の評定平均)が2.0以上である必要があります。

※GCP科目は、共通科目の授業として開講されます。したがって、GCPで修得した単位は、各学部で定める卒業要件の「言語科目(英語)」、「共通科目」、または「自由選択科目」の単位として含まれます。

※一部のGCP科目については、GCP以外の所定の科目を修得することにより、GCPの修了に必要な単位として認定することができます。



GCP選抜要項

変更の可能性がありますので、必ずGCPホームページの募集要項もご確認ください。

GCPの受講には、入試合格後に出席が必要で、また、GCPの選抜試験は入学前に行われます。入学後にエントリーすることはできません。

出願・募集について

- **対象学部**：経済・経営・法・文・教育・理工学部(国際教養学部、看護学部は別カリキュラムのため応募できません。)
- **対象入試**：PASCAL入試、公募推薦入試、指定校推薦入試、創価学園推薦入試、大学入学共通テスト利用入試、全学統一入試、一般入試、大学入学共通テスト利用入試(後期)、一般入試(後期) ※対象入試の訂正がありますので、1ページ目の訂正紙をご確認ください
- **募集期間**：入試ごとに異なります。以下の「選抜の流れ」ならびに「GCP募集要項」をご確認ください。
- **募集人員**：30人(合格者が募集人員に満たない場合でも、追加募集は行いません。)
- **受講費用**：無料(英語学習の一環として、TOEFL® テスト等の外部試験を自己負担で受験する場合があります。)

※出願資格について不明な点がある場合は、事前にGCP事務室にお問い合わせください。

選抜の流れ

GCPでは出願者に対して選抜を実施します。選抜は以下の2段階で行います。

- ① **第1次選抜**：エントリーシート、入学試験の成績、入試出願時に提出された調査書に基づき、書類審査を行います。
入試合格者向けに開設される「入学支援システム」より、エントリーシート等の必要書類をオンラインで所定の期日までにご提出ください。提出締め切り日は入試ごとに異なります。募集要項でご自身の入試の締め切り日をご確認ください。エントリーシートは提出フォームの下書き段階で一時保存できますが、締め切り日までに必ずご提出ください。
第1次選抜の結果は、入学前に、「入学支援システム」で通知します。第1次選抜合格者には、第2次選抜のスケジュール等も併せて通知します。
- ② **第2次選抜**：3月下旬ごろに小論文試験・面接試験・英語試験を行います。さらに入学前後に全新生に対して実施されるプレイスメントテストの結果を含めた総合評価により受講者を決定し、4月上旬ごろに可否を通知します。

GCP募集要項

<https://www.soka.ac.jp/gcp/admission/info/>



Q & A

① GCP生はどのような課外活動に取り組んでいますか？

GCP生はクラブ活動や学生自治会、大学行事の実行委員会等に参加することはできませんが、GCPで身につけた英語力や論理的思考力、問題解決力を活かし、学外の国際学生会議、外務省が主催する海外インターンシップ、内閣府主催の国際青年交流事業、国連協会主催ユースフォーラムなどに日本代表として参加しています。

学内においては、ASPIRE創価(国連アカデミックインパクトの学生団体)の中心メンバーとしてSDGs達成を推進するイベントや難民支援映画祭などを企画し運営しています。そのほか、国際寮での留学生のサポートスタッフ、グローバルな就職活動を支援するスタッフ、GCPで培った経験やスキルを活かせる課外活動に、積極的に取り組んでいます。

② 選抜試験に向けた準備について

小論文試験では、社会課題などのテーマとそれに関する資料が与えられ、所定の時間内に自分の考えを明確かつ論理的に述べる事が求められます。英語試験の中ではライティング試験が課されます。大学入試英語エッセイ問題、英検® 1級ライティング問題、TOEFL® テストライティングセクションの出題形式を参考にしながら、英語パラグラフの構成を把握しておきましょう。面接試験ではGCPの志望動機、学修計画、これまでの経験と、ある1つの社会課題に関して意見が求められます。GCPの目指す人材像を把握し、自分の学びたい内容、キャリア計画をよく検討するとともに、国内外の諸問題について常に情報を収集し、周囲の人たちとの議論を通して、自分の意見を持つようにしましょう。

発行日:2024年4月29日

GCP事務室(総合学習支援オフィス学習支援課内)

ホームページ:<https://www.soka.ac.jp/gcp/> TEL:042-691-7009 FAX:042-691-6941 メールアドレス:sgcp@soka.ac.jp

お問い合わせ時間:月~金曜日 9:00~17:00/土曜日 9:00~12:00